



左: 國分莉佐子《Summer view》2024 キャンバスに油彩、アクリル
右: 齋藤鷹 個展「ロストハウス」インスタレーションビュー 2023 Photo by Marie ONO

sandbox

2024年9月6日(金) – 9月28日(土)

出展作家: 國分莉佐子 / 齋藤鷹

この度、CASHIでは、2024年9月6日(金)から9月28日(土)まで、國分莉佐子と齋藤鷹による二人展「sandbox」を開催いたします。

「sandbox」とは、直訳すると「砂場」を意味する言葉で、IT業界における同語では、新しい機能やプログラムを自由に検証できる隔離された開発・テスト環境を指します。また、ゲーム業界では、サンドボックスゲーム(sandbox game)というジャンルがあり、プレイヤーに明確な達成目標やストーリーを用意せず、提供された世界観の中で自由に行動するタイプのゲームを指します。今回の二人展は、夏休みの自由研究を発表するように、習作などを気負わず発表する場にしてほしいという意図から、「sandbox」と題しました。

國分は、1999年東京生まれの作家で、ノスタルジックな日常風景や、幼少時代より慣れ親しんでいるゲームのイメージなどを抽象的な形に切り取り、歪め、鮮やかな色彩で描き出す作家です。24年に開催した初個展「可視光線のコンポジション」(Extra Small、東京)では、映像作品の制作にも挑戦しました。

齋藤は、2001年山形生まれの作家で、植物や昆虫、動物などの自然のモチーフを描くことを得意とし、無垢な豊かさが溢れる画面が特徴の作家です。23年に開催した初個展「ロストハウス」(AVA / 旧Hello Bee、東京)では、有機的且つ独特な色遣いや表情が評価され、SNSを中心に人気を博し、今後の活躍が期待されています。

國分は、リサーチのために訪れた沖縄で採取したシーグラスや貝の支持体に、自身初となるドローイングに挑戦します。齋藤は今回が初めてのグループ展参加となり、自身で用意した変形の支持体に挑みます。

二人の作家が自由に表現した作品群を、是非ご覧下さい。

國分莉佐子 Risako KOKUBU

1999年 東京都生まれ
2022年 東京藝術大学 美術学部絵画科油画専攻卒業
2022年より 東京藝術大学大学院 美術研究科油画 技法材料研究室 在籍中

個展

2024年 「可視光線のコンポジション」Extra Small、東京

主なグループ展

2023年 「はたからみる」新宿眼科画廊 / CASHI、東京
2022年 「P.O.N.D.2022」PARCO MUSEUM TOKYO、東京

齋藤鷹 Taka SAITO

2001年 山形県生まれ

個展

2023年 「ロストハウス」AVA / 旧Hello Bee、東京

CASHI

本件に関するお問い合わせ：info@cashi.jp

〒111-0053 東京都台東区浅草橋5-6-12-1F tel : 03-5825-4703 fax : 03-5825-4704

開廊時間：水～土 12:00～18:00

JR浅草橋駅西口より徒歩5分

JR浅草橋駅東口・都営浅草線浅草橋駅A2出口より徒歩10分

JR秋葉原駅昭和通り口・東京メトロ日比谷線秋葉原駅1番出口より徒歩10分

